

Kaitaful Days.

あなたらしい、
ちょうどいい暮らしを
海田で。

第5次海田町総合計画
後期基本計画 概要版

令和8(2026)年～令和12(2030)年

海田町 KAITA TOWN





Life With Kaita

—ずっと、ここで、かいた。—

自分らしく暮らせるヒューマンスケールのまち

なぜか惹かれてしまう。

そこに暮らす人々やコミュニティとの適度な距離感。

その町に暮らす人々のライフスタイルから、街の魅力や人々が大事にするモノが見えてくる。

“Human Scale”

私たち海田町が大事にしたいのは、この町で暮らす人々中心のヒューマンスケールの視点。

自分らしい暮らしを日々送りながら、山川海に囲まれた海田の自然に癒され、お店やそこで

集う人々との出会いを楽しみ、お気に入りの居場所できつろぐ——。

そんな暮らしに根差したまちを目指します。

自分にとって本当に大事なことって何だろう？

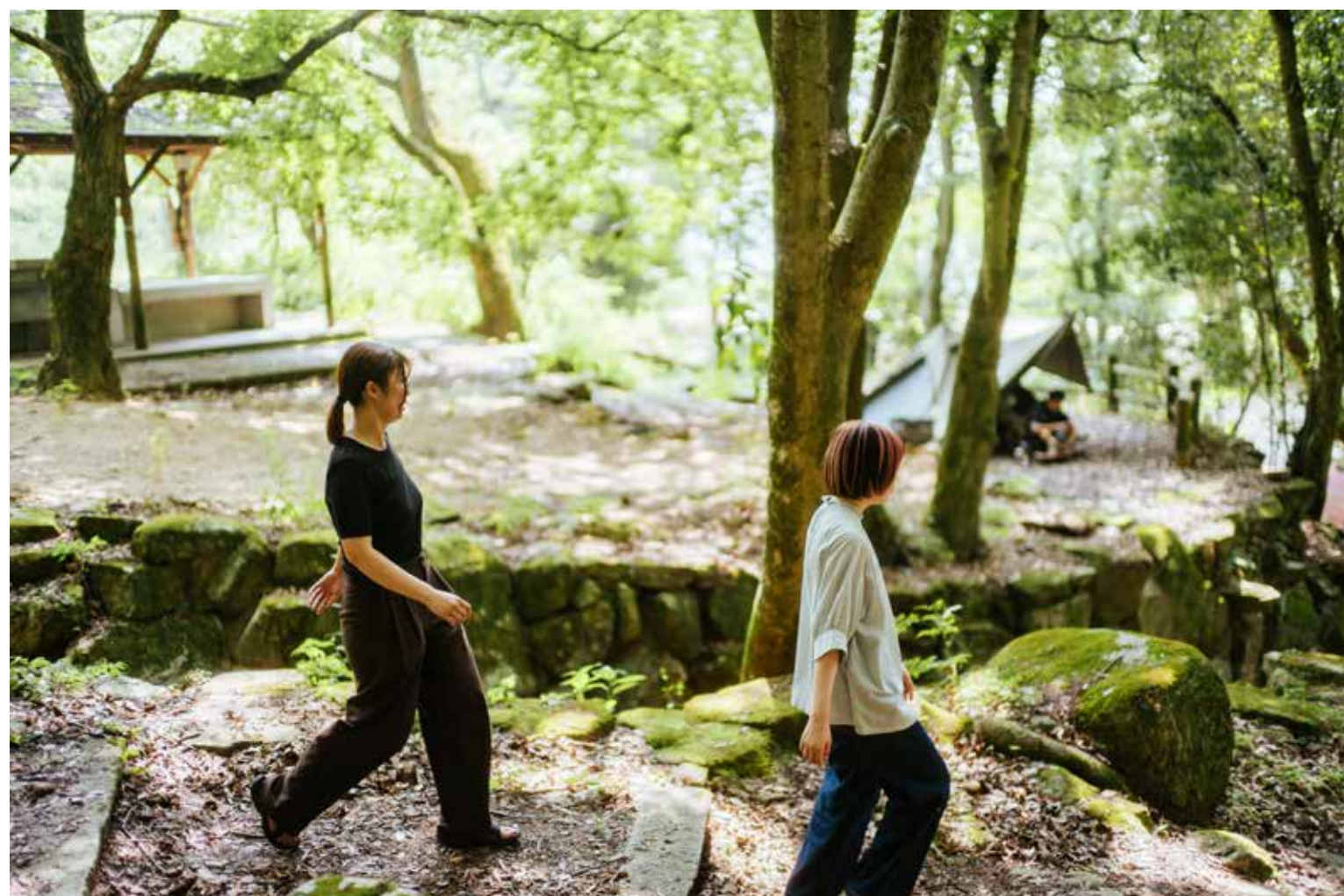
どんな街で、どんな人々と、どんな生き方や暮らしをしたいんだろう？

その答えは、きっと海田町にあります。

“Life With Kaita”

自分らしさをこの町を見つける。あなたの人生をずっと、ここで。

海田町の目指すまちづくり 「自分らしく暮らせるヒューマンスケールのまち」



ヒューマンスケールのまちとは

人間の行動や感覚を尺度にデザインしたまちづくり。
ここでは、人が交流し、人で賑わい、人の温もりを感じられる、
人を中心に据えたまちづくりをしようという考え方。

01 / 交通の利便性

都心にも、日常にも、ちょうどいい距離。



東京都 → 海田町

飛行機利用
約 2 時間 30 分

広島市 → 海田町

JR山陽本線
約 10 分

呉市 → 海田町

広島呉道路利用
約 30 分

大阪府 → 海田町

新幹線利用
約 1 時間 30 分

広島市都心部
約 20 分

東広島市 → 海田町

東広島バイパス
約 30 分

02 / 海田町ってどんなまち？

海田市駅のまわり（徒歩約20分圏内）



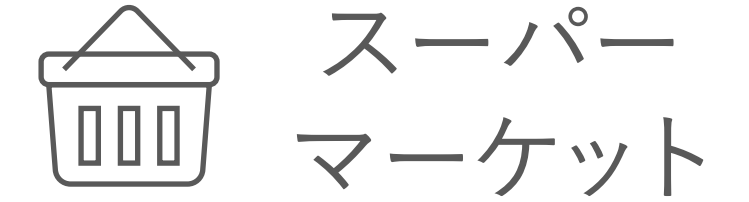
42 機関



2 校



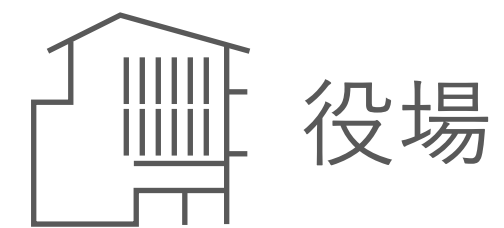
4 店舗



8 店舗



徒歩 7 分



徒歩 13 分



徒歩 7 分



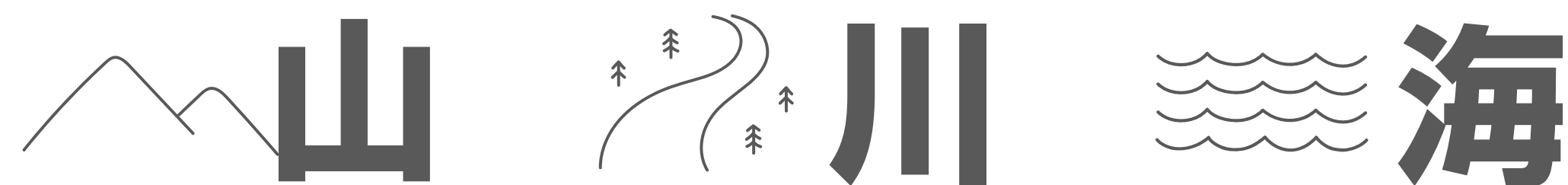
徒歩 5 分

What kind of town is Kaita?

03 / 海田町ってどんなまち？



広島県で2番目に小さい町だけど、、、



海田町は広島県で 2番目に面積の小さい町ですが、広島市に囲まれた都市と自然の「ちょうどよい」バランスが魅力の都市近郊型の「コンパクトシティ」です。人々の往来で「交通の要衝」として栄えてきた歴史があり、山陽本線と呉線の結節点がある立地特性に加えて、東広島バイパスが全線開通するなど交通利便性が飛躍的に高まっています。充実した都市機能に加えて、豊かな自然に囲まれた暮らしやすさが評価され、若年層の人口比率や合計特殊出生率は県内で最も高い水準を維持しています。

全部あるコンパクトな町！

Kaitaful Map

海田町はこんなまちです！



04 海田町の魅力

“ぎゅっと”つまった魅力が満載！



交通利便性を活かした

優れた事業環境

1km²当たりの事業所数

県内2位

出典：令和3年経済センサス活動調査

子育て満足度 84%

専門職員を配置した相談しやすい環境

「かいたネウボラ」

安心して元気に暮らせるまち

高齢化率の低さ

県内1位

出典：広島県各市町別高齢化率（令和7年1月1日時点）

どこへ行くにも便利！

徒歩圏人口カバー率

周辺市町比較 約15ポイント高い

商業・医療が「徒歩圏内」に。

生活サービス充実度

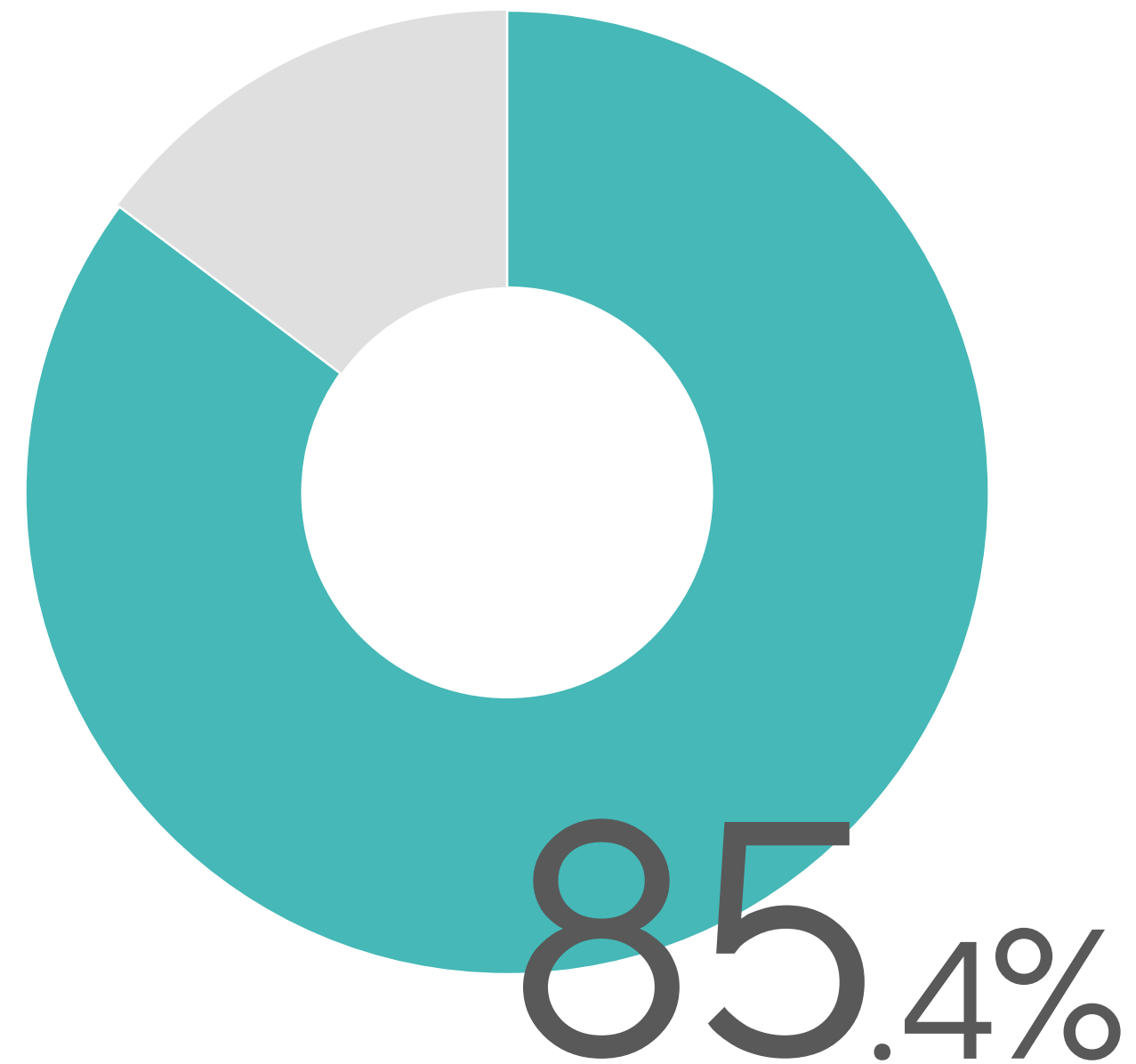
周辺市町比較 高水準

05 / みんなに愛される海田町！

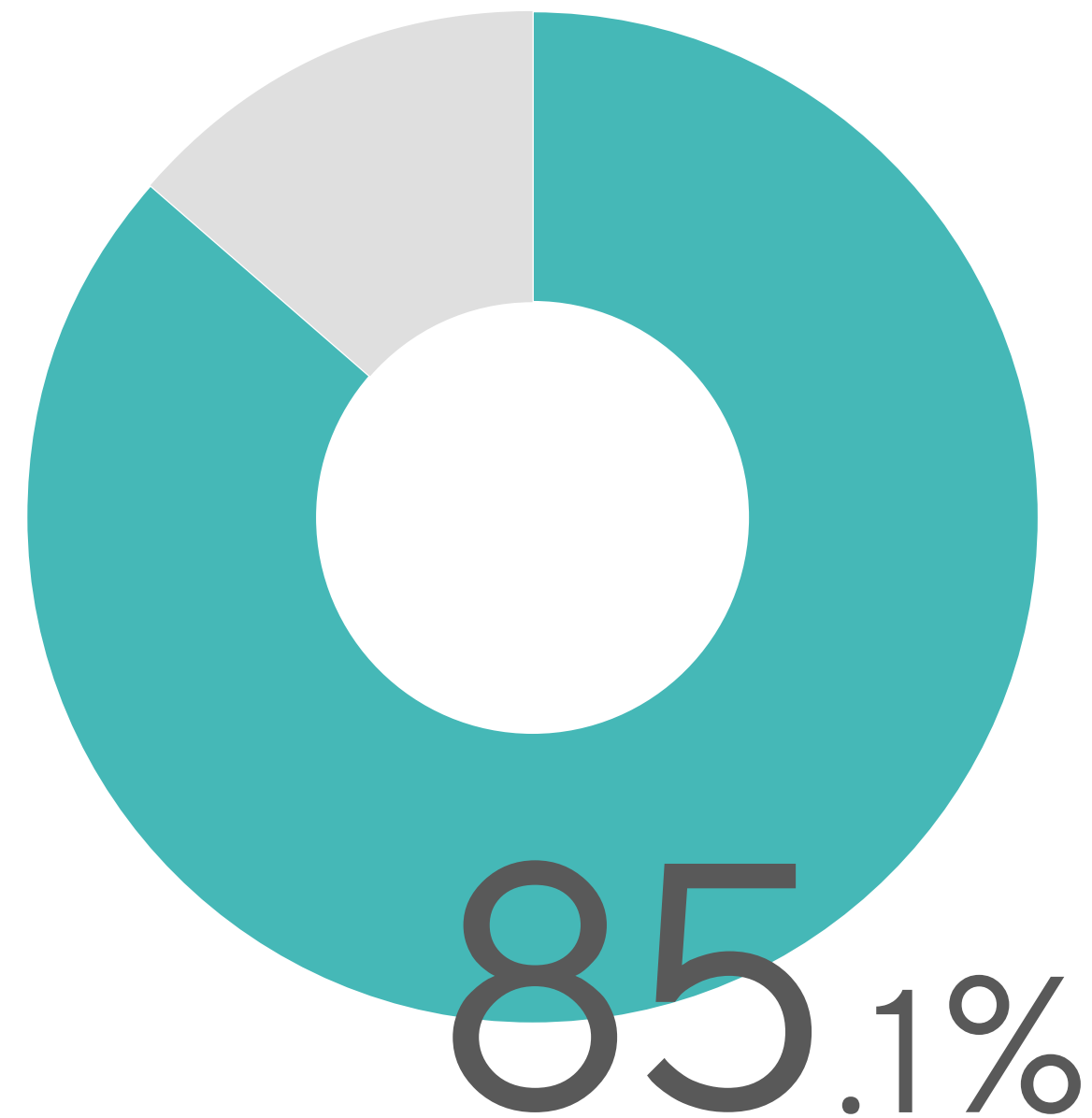
住民アンケート

定住意向

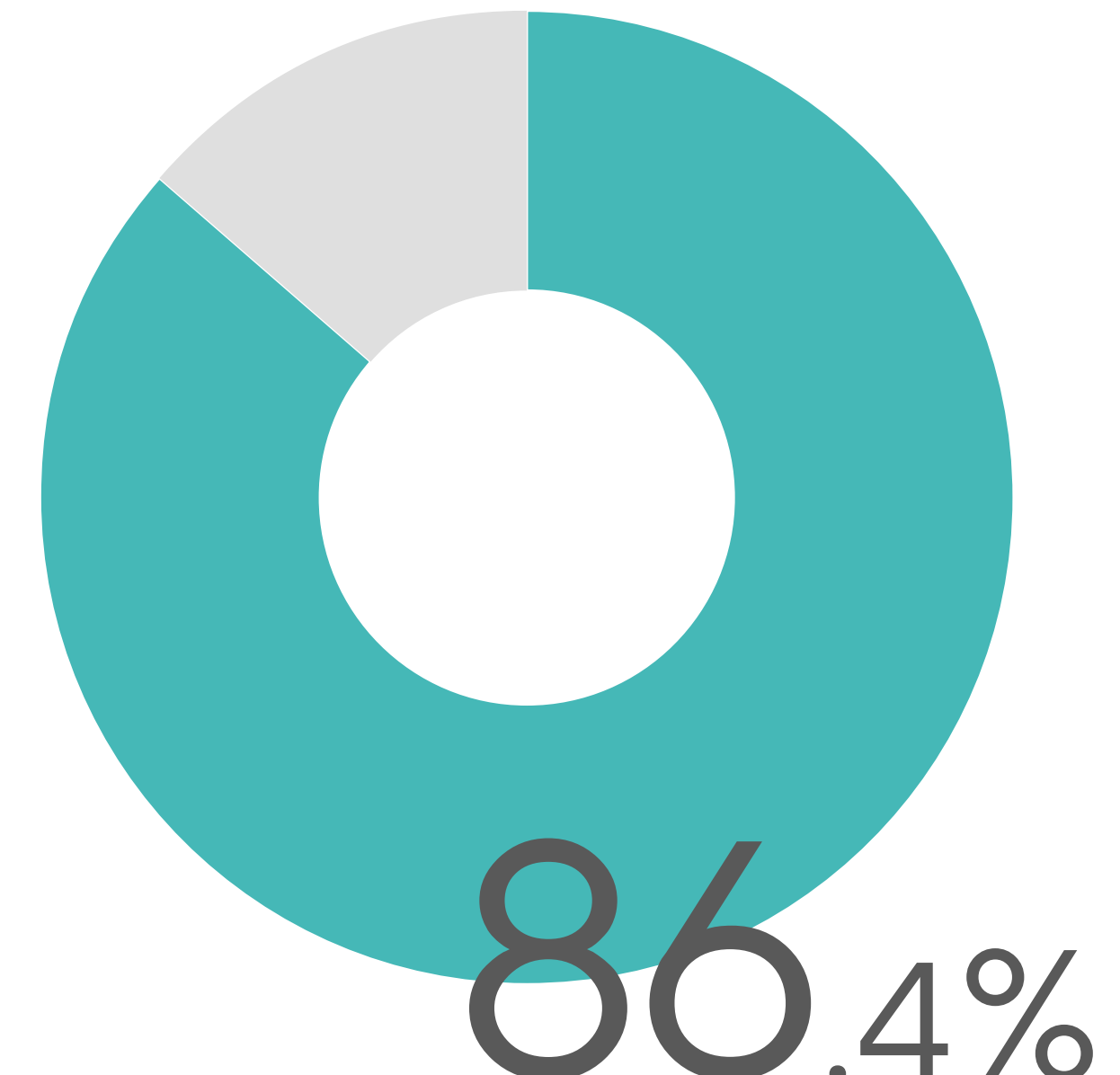
海田町に住み続けたいと思っている割合



愛着度



住みよさ



特徴的な住民アンケート回答

住みよさの理由

住みよさ理由の上位3回答

住みやすい理由	
1	交通の結節点(利便性)
2	山々や瀬野川などの自然環境
3	コンパクトなまちの構造

年齢別(19歳以下～80歳以上)住みよさの割合の高い回答

19歳以下～60歳代
 交通の結節点(利便性)

19歳以下(65.8%) 20歳代(64.3%)
 30歳代(57.9%) 40歳代(66.1%)
 50歳代(72.0%) 60歳代(70.4%)

30歳代～40歳以上
 子育てのしやすさ

30歳代(57.9%) 40歳代(21.2%)
 50歳代(3.6%) 60歳代(6.1%)

70歳代～80歳以上
 山々や瀬野川などの自然環境

70歳代(71.2%)
 80歳以上(69.3%)

子育て世代には、
 子育てのしやすさも評価されています！

定住意向の理由 居住年数別住みよさ・定住理由項目 上位回答

居住年数別住みよさの割合の高い回答

5年未満～30年未満
 交通の結節点(利便性)

5年未満(60.4%) 5～10年未満(57.4%)
 10～20年未満(60.8%) 20～30年未満(75.7%)

30年以上
 山々や瀬野川などの自然環境

30年以上(65.1%)

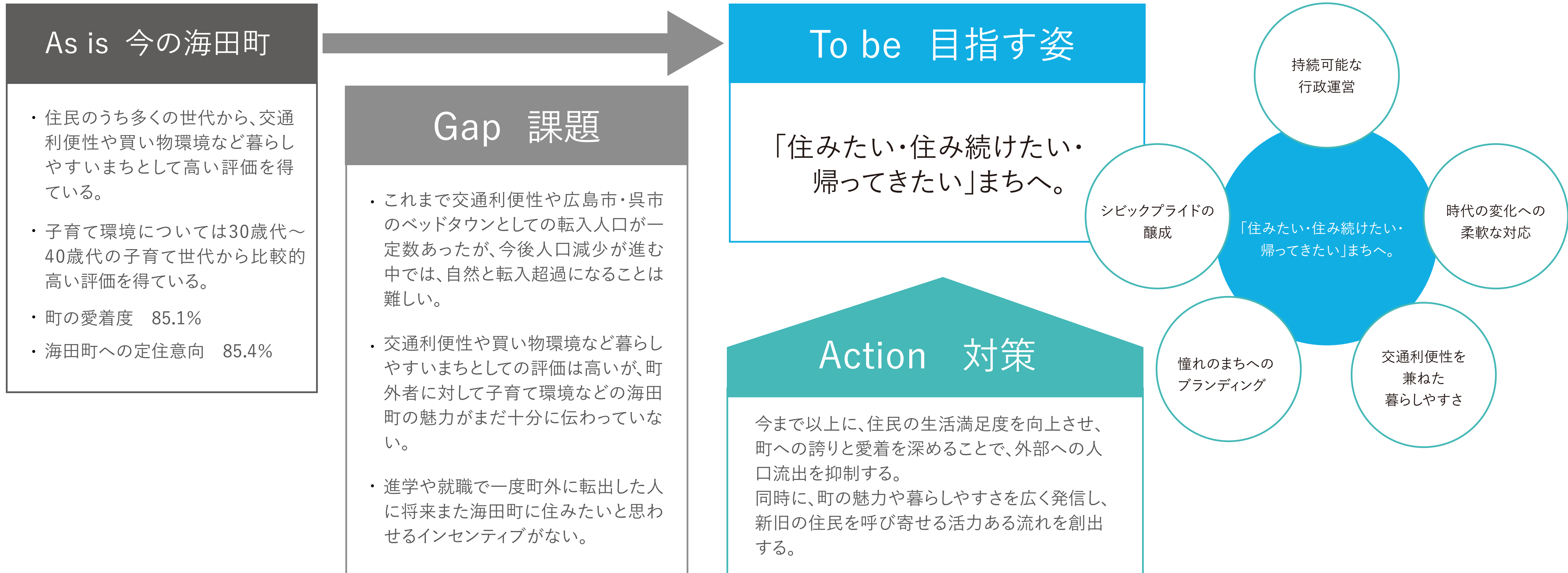
居住年数別定住理由の割合の高い回答

全居住年数(5年未満～30年以上)
 山々や瀬野川などの自然環境

5年未満(65.7%) 5年～10年未満(63.6%)
 10年～20年未満(62.9%) 20年～30年未満(58.7%)
 30年以上(58.9%)

居住年数別の住みよさ・定住理由についても
 海田町の交通利便性の良さが表れる結果に。

07 後期基本計画の目指す姿



08 計画策定の背景と目的

海田町は令和 12(2030) 年までは、人口が増加傾向にあると推測していますが、今後、少子高齢化、人口の減少・停滞、環境問題といった全国的な課題に海田町も直面することが想定されます。

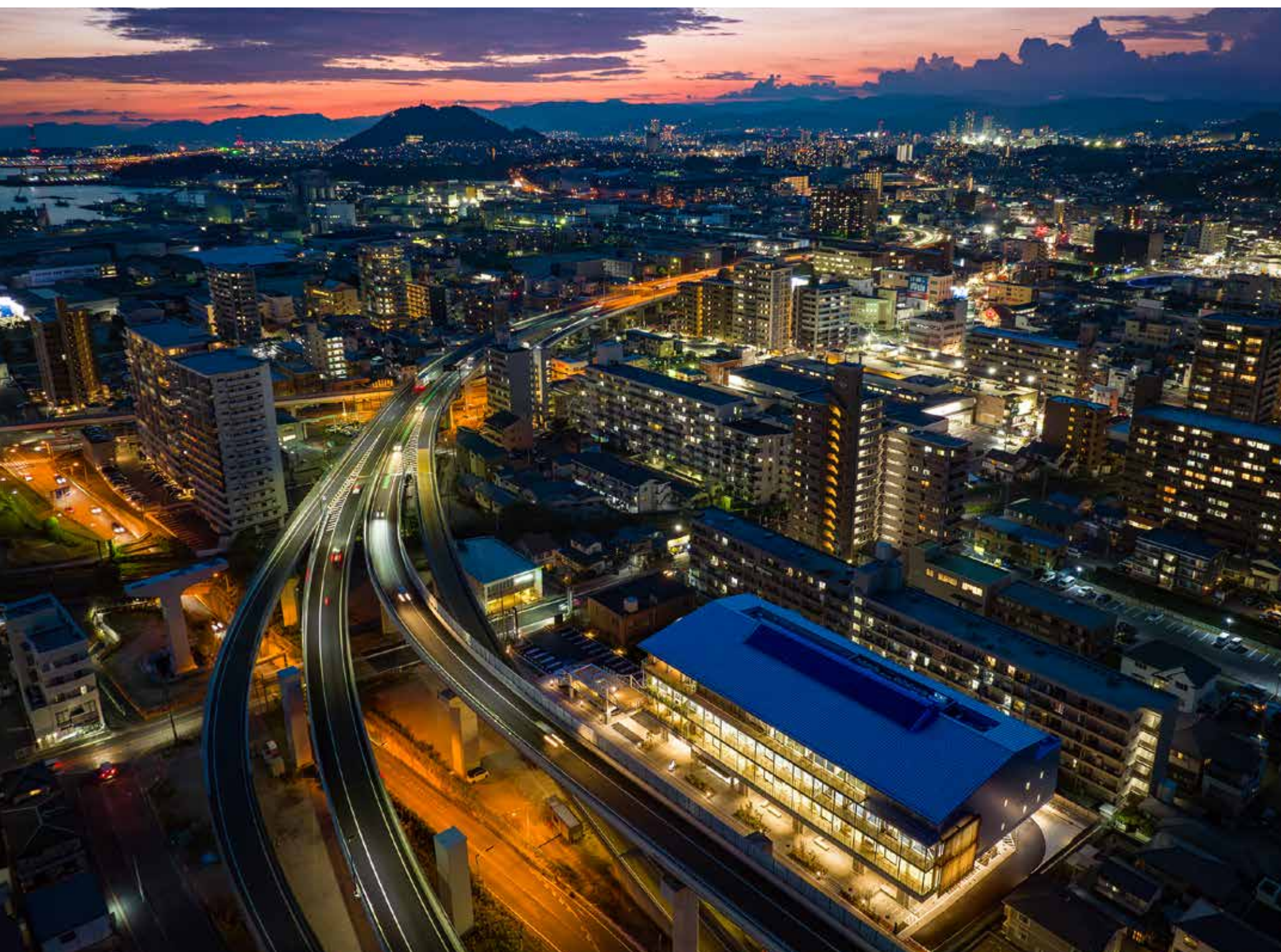
こうした将来的な課題を見据えながら、住民の暮らしを支え、地域の活力を高めるまちづくりを進めるため、令和 7(2025) 年度に新たに第 5 次海田町総合計画後期基本計画を策定しました。



これまでの取組

昭和55年 (1980)	平成 4 年 (1992)	平成12年 (2000)	平成22年 (2010)	令和 2 年 (2020)	令和12年 (2030)
海田町総合基本計画 健康で豊かな文化に満ちた生活を営み、 生きがいを喜びあえる町づくり 昭和55(1980)年9月策定 目標年次:平成7(1995)年					
		海田町 新総合基本計画 うるおいと活力のあるヒューマン・アメニティのまち 平成4(1992)年3月策定 目標年次:平成12(2000)年			
		第 3 次 海田町総合基本計画 人と地域が輝く『ひまわりのまち・海田』 平成12(2000)年12月策定 目標年次:平成22(2010)年			
				第 4 次 海田町総合計画 ひと輝く・四季彩のまち・かいた 平成22(2010)年12月策定 目標年次:令和 2(2020)年	
				第 5 次 海田町総合計画 ひと・まち・みらいをつなぐ 暮らしやすさが実感できるまち かいた 令和2(2020)年12月策定 目標年次:令和12(2030)年	

人口ビジョン



「人口ビジョン」とは、海田町の人口の現状と未来の見通し、これからどんなまちを目指していくのか、その大きな方向性を示すものです。町独自推計では、今後5年間は人口が増加することを見込んでおり、本計画の目標年次(令和12(2030)年)における総人口は、令和2(2020)年度から約1,000人増加の30,600人と設定します。

目標

令和12年 総人口 30,600人

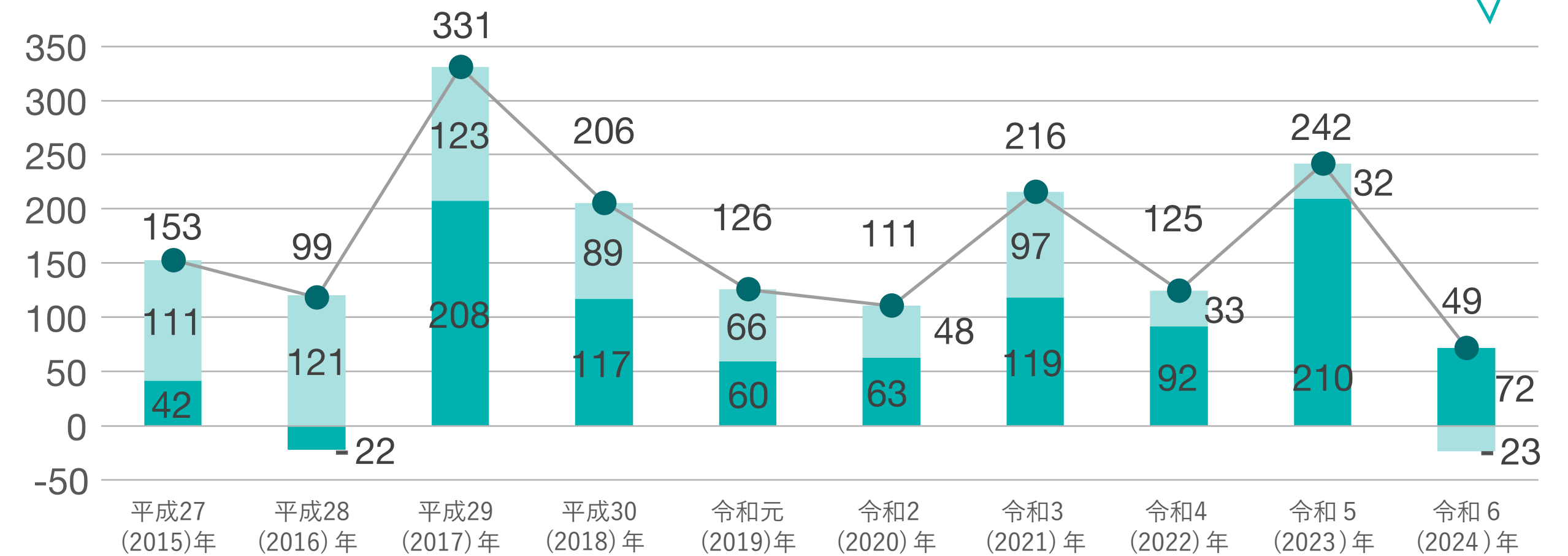
10 / 海田町の人口



子育て世代に選ばれているまちです

海田町の人口動態の推移

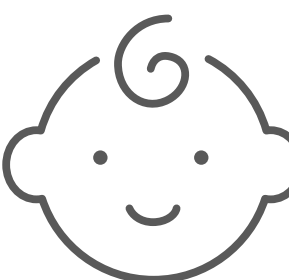
平成27年以降
10年連続で人口増加!



出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告」

社会増減 自然増減 人口増減

全国平均、県内平均と比較して上位

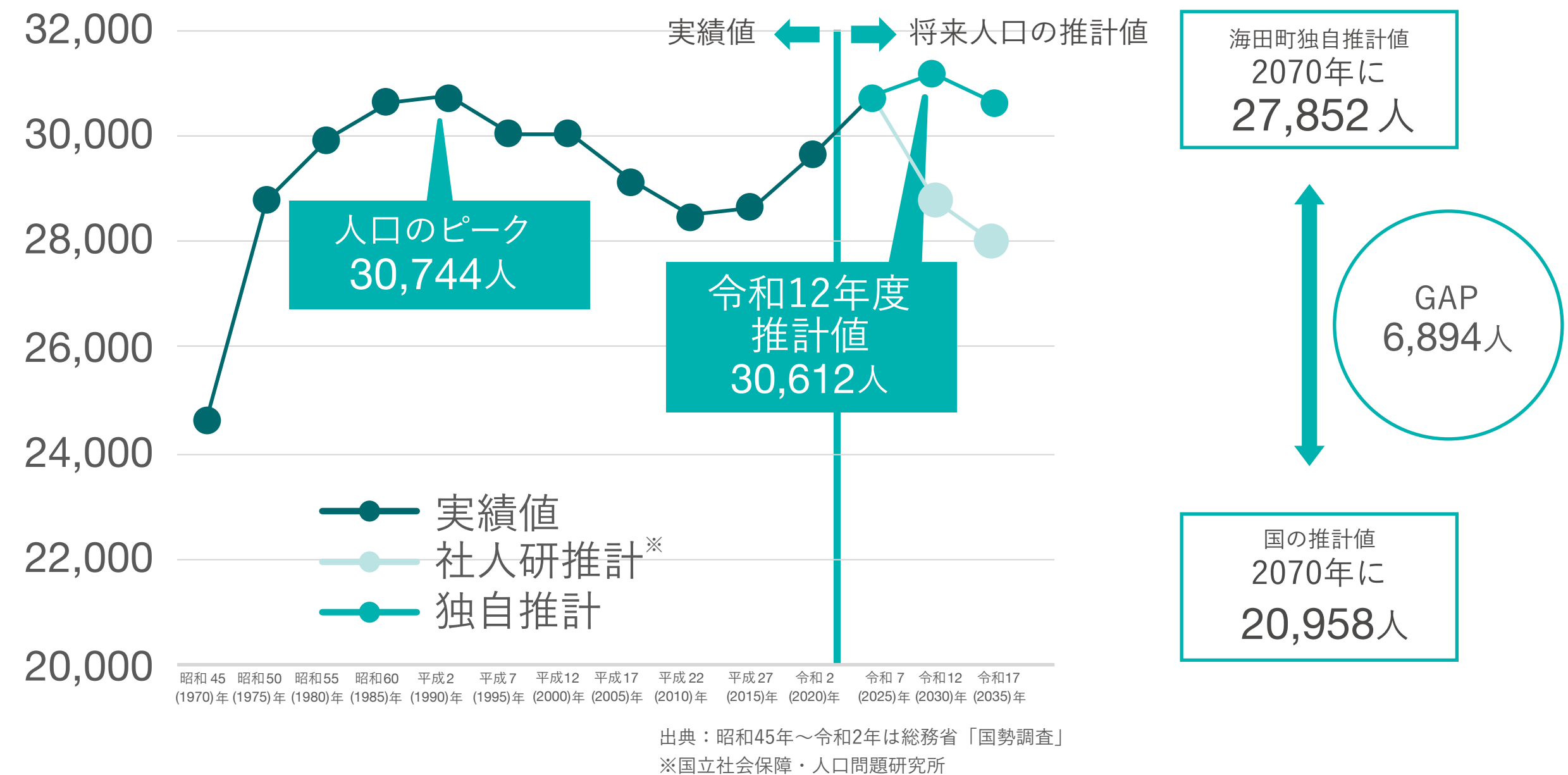
合計特殊出生率は **1.80** 

全国平均は1.15
全国平均より高い!

出典:厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計平成30(2018)年→令和4(2022)年」

将来人口推計

この先も、人と暮らしが続いていく



県内自治体からの転入数 出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告2024年(令和6年)」

1. 広島市
2. 呉市
3. 東広島市

12 / 海田町で「豊かな暮らし」

持続可能なまちづくりのための様々な取組

子育て・教育



「かいたネウボラ」を核とした
妊娠期から子育て期にわたる
切れ目のない
支援体制



児童館や自習など
フリースペースとして活用できる

こどもの居場所が充実
公共施設数 **9** か所



海田町の未来を担う子どもたちが
「明日また行きたい」と思える学び舎

海田東小学校と
海田小学校の建替え



幼稚園・保育所・認定こども園・
小学校などが連携した

スムーズな
教育移行



豊かな心を育む町独自の教育
町内の全町立小中学校を対象とした

自己肯定感を高める
小中一貫道徳教育の充実

13 海田町で「豊かな暮らし」

持続可能なまちづくりのための様々な取組

ハード事業



まちのランドマークとなる

新駅の誘致に
向けた検討の推進



緊急時でも早期対応を
可能とする交通網の整備

早急な避難・
救助が可能

歴史文化



日本人初のオリンピック金メダリスト

織田幹雄さんの
偉業継承

健康・福祉



保健師の地区担当制により

「顔が見える」
相談体制と保健活動



高齢者、障がい者の
ニーズに合わせた

総合的・専門的な
相談支援体制



福祉まるごと支援

多機関・多職種で
ワンストップな支援

子育て

こどもの健やかな育ちを支えるまちづくり

こどもが生まれ、健やかに成長していくまで海田町全体で支えていきます。

子育て支援の充実



- 1.多様化する保育ニーズへの対応
- 2.子育てに関する支援の充実
- 3.子育て家庭の暮らしを支える支援の充実

重点施策

子育て家庭へのおむつの支給

学校教育の充実



- 1.「確かな学力」の育成
- 2.「豊かな心」の育成
- 3.「健やかな体」の育成
- 4.充実した教育環境の整備

重点施策

海田東小学校と海田小学校の早期建替

小中一貫教育の充実

「海田っ子応援基金」などを活用した学びの環境改善

こどもが健やかに育つ環境の整備促進



- 1.特に配慮が必要な子どもなどへの支援の充実
- 2.地域で子どもを見守り育てる環境整備の促進
- 3.心豊かでたくましい青少年の育成

安全安心・防災

災害に強く安全なまちづくり

安全安心な暮らしを守るため、防災の環境と意識醸成を進めます。

災害復旧復興・ インフラ強靱化の推進



1.災害に備えた強靱なインフラ整備

重点施策

住民の生命と財産を守る防災インフラの整備

防災・減災体制の強化



1.災害対応能力の強化

2.防災意識の醸成

3.避難体制の充実

4.連携による防災力の向上

重点施策

地域における防災力の一層強化

暮らしの安全・安心の確保



1.防犯対策の推進

2.消費者行政の充実

3.交通安全の意識啓発と交通環境の整備

都市整備

地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり
交通の要衝として、都市基盤の整備を推進します。

計画的な土地利用の推進



- 1.新駅誘致に向けた検討の進展
- 2.ランドバンク事業の推進

重点施策

まちのランドマークとなる新駅の誘致に向けた
検討の推進

都市基盤の整備



- 1.国道・県道の整備促進と生活道路の整備
- 2.道路施設の適正な維持管理と防災対策の推進
- 3.広島南道路の整備促進
- 4.東広島バイパスと安芸バイパスの暫定2車線
区間の4車線化の整備促進
- 5.連立事業(高架整備)の整備促進

快適な交通網の形成促進



- 1.移動しやすい公共交通体系の整備
- 2.安全・安心な歩行空間の整備
- 3.快適な自転車利用環境の整備

都市整備

地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり
交通の要衝として、都市基盤の整備を推進します。

快適な生活環境の整備促進



- 1.潤いのある都市空間の形成促進
- 2.安全・安心な住環境の形成促進

持続可能な上下水道の運営



- 1.水道の安定供給体制の維持
- 2.持続可能な公共下水道の管理運営

健康・福祉

健康で安心して暮らせるまちづくり

こどもから高齢者まで安心して暮らせるよう健康・福祉の取組を進めます。

地域福祉の推進



- 1.地域共生社会の推進
(重層的支援体制の充実など)
- 2.生活困窮者への支援体制などの充実

健康づくりの推進



- 1.住民の健康づくりと健康寿命の延伸

重点施策

健康寿命延伸のための各種取組

健康・福祉

健康で安心して暮らせるまちづくり

こどもから高齢者まで安心して暮らせるよう健康・福祉の取組を進めます。

高齢者福祉の推進



1. 高齢者の支援体制などの充実
2. 高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進
3. 各種介護サービスなどによる支援の充実
4. 認知症施策の推進

重点施策

地域包括支援センターを中心とした相談・支援の充実

地域交流・多世代間交流の促進などによる社会参加の機会創出

障がい者福祉の推進



1. 障がい者の自立した生活の支援
2. 障がい者に対する社会参加と就労支援
3. 障がい児支援の充実

重点施策

障がい者基幹相談支援センターを中心とした相談体制の強化・充実

共生社会

誰もが輝くまちづくり

誰もが自分らしく輝けるような環境づくりを推進します。

生涯学習の推進



1. 学び続ける力の育成
2. 生涯学習の環境整備

重点施策

海田町立図書館をはじめとする、社会教育施設の計画的な整備

歴史文化の継承



1. 郷土の歴史文化の保存・継承の取組推進
2. 織田幹雄さんをはじめとする先人の偉業継承

芸術文化・スポーツの振興



1. 芸術文化活動支援の充実と機会の提供
2. スポーツ活動の振興と普及

共生社会

誰もが輝くまちづくり

誰もが自分らしく輝けるような環境づくりを推進します。

人権尊重と男女共同参画 社会の形成



- 1.一人ひとりの人権が大切にされている社会の形成促進
- 2.男女共同参画社会の形成促進

多文化共生社会の形成



- 1.多文化共生社会の形成促進

自然・生活環境

環境にやさしいまちづくり

安全安心と環境への配慮を両立したまちづくりを推進します。

地球温暖化対策の推進



- 1.温室効果ガス排出量削減に向けた取組の促進

環境保全と循環型社会の形成



- 1.生活環境保全の推進
- 2.ごみの減量化とごみ処理体制の充実
- 3.3Rの推進

重点施策

ごみを出さない取組の推進(エシカル消費)

自然に親しむ環境の整備



- 1.自然環境に関する意識啓発
- 2.自然環境の保全と活用の推進

にぎわい

にぎわいと交流のまちづくり

まちのどこでも交流が生まれるようなにぎわいのあるまちづくりを推進します。

地域活動と多様な担い手による
まちづくりの推進



- 1.地域活動への参加促進
- 2.広聴の推進

重点施策
自治会の負担軽減・活動活性化
対話を通じた地域課題の解決

まちの魅力を活用した
関係人口の増加



- 1.新しい人の流れをつくる取組の推進

重点施策
「西国街道」再生プロジェクトの推進
四季を感じる「お祭り・イベント」の通年開催
「町制施行70周年」を契機とした継続的なイベントの開催、シビックプライドの醸成

にぎわい

にぎわいと交流のまちづくり

まちのどこでも交流が生まれるようなにぎわいのあるまちづくりを推進します。

商工業の振興



- 1. 町内事業者の支援充実
- 2. 創業などによる地域経済活性化

重点施策

町内事業者に対する財政面・広報面での支援
住民ニーズに応える店舗などの町内展開促進

就業の促進



- 1. 就労支援の充実
- 2. 労働環境の向上促進

計画推進力

力を合わせたまちづくり

分野別計画をより推進するための取組にも注力します。

01

住民ニーズの的確な把握と
質の高い行政サービスの提供

03

効果的で効率的な公共施設の運営

05

地域課題の解決に向けた
広域連携の推進

02

効率的で持続可能な行財政の運営

04

デジタル・AI技術を活用した
効率的な運営

06

戦略的・効果的な情報収集と
発信の実施



Kaitaful Days.

あなたらしい、ちょうどいい暮らしを海田で。

第5次海田町総合計画後期基本計画(概要版)

発行 海田町 令和8(2026)年3月

編集 海田町企画部かいたブランド課
広島県安芸郡海田町南昭和町14-17

電話 082-823-9212

URL <https://www.town.kaita.lg.jp>

E-mail brand@town.kaita.lg.jp